



苦小牧市内各所の最大浸水予測と浸水域（数値は道公表の津波浸水予測図による）

地域を知る

適切な避難を行うには、自分の住んでいる地域に、どれくらいの津波が来る可能性があるのかを把握することが大切です。

北海道は、東日本大震災での甚大な津波被害を教訓に、北海道沿岸における津波想定の大規模な見直しを行い、本年6月28日に苦小牧を含む太平洋沿岸部の「津波浸水予測図」を公表しました。

津波浸水予測図とは

今回公表された津波浸水予測図は、これまでに発見されている津波堆積物など過去のデータを参考として、当該地域で最大クラスの津波が発生した場合の波高と浸水域を想定したものです。

様々な仮定に基づいて作成されており、次に起きる津波について正確に予測したものではありませんが、大震災の経験から私たちが学び、津波対策を考える上で大切な資料となります。

拡大した浸水予測地域

上図は津波浸水予測図から抽出した浸水域と、市内各所における最大浸水深を表したものです。

これまでの地域防災計画などで浸水が予想されていた沿岸や河川沿いの地域に限らず、線路を越えた内陸寄りの

地域においても浸水の可能性があること示されました。あくまで想定ではありますが、最悪の場合を考える必要があります。

対策を知る

苦小牧市では、今回の浸水予測を受けて、様々な津波対策の整備、見直しを行います。

津波ハザードマップの作成

公表された津波浸水予測図を反映させた、苦小牧市独自の「津波ハザードマップ」を作成し、従来の「樽前火山ハザードマップ」や「洪水ハザードマップ」と合わせて、総合的な「防災ハンドブック」を作成します。今年度中に市内全戸と全事業所への配布を行いますので、家庭・職場での災害対策に役立ててください。

津波避難計画の策定

市民の皆さんが津波発生時に取るべき行動を具体的に定め、安全で円滑な避難活動の確立を目的として、苦小牧市の津波避難計画（全体計画）を今年度中に策定します。

内容として、津波警報・大津波警報が発表された場合に開設する避難所や、避難勧告・避難指示の発令基準、発令時の連絡体制などを含みます。